



TANABE CONSULTING 2024

地域創生型新しいビジネスモデル研究会

ゲストご紹介資料

ビジネスの最前線を走る企業による実践型講義と現地視察で、

成功・失敗のリアルなポイントを学びます。

講義・視察を受けての提言とノウハウを

コンサルタントがわかりやすく統括し的確にサポート。

経営層との交流も図れ、

各社のノウハウを自社の強みに転換することができます。

ぜひ、ご参加ください！

▼ 詳しくはこちら

タナベ 研究会

検索



お申込み・詳細はタナベコンサルティングホームページ
または、担当コンサルタントまでお気軽にお尋ねください。



SOCIALX

ソーシャル・エックス総研

株式会社ソーシャル・エックス 株式会社ソーシャル・エックス総研

代表取締役 伊藤 大貴 氏

リスクとリターンとインパクトのこれから ～社会課題が経営テーマの最前線に

新型コロナによって、社会は大きく変化した。

1. 毎年6月に発表される「骨太の方針」では、「社会課題解決を経済の成長エンジンにする」と明記され政府は今、新しい経済のあり方にアップデートしつつある。
これはビジネスにも大きな影響を与えるだろう。

2. これまでの経営はリスクとリターンの設計で対応できたが、これからはインパクトも求められる。
それが分かりやすく表現されているのがApple Watchのウェブサイトである。
Apple Watchを事例に、インパクトこそがこれからの会社経営にいかに重要であるかをご講演いただく。

インパクトの設計は、どうしたらいいかわからない。

3. 世の中的にもまだ手探りの状態である一方で、少しずつ事例も生まれている。
同社が過去に支援した事例をもとに、社会課題解決（インパクト）が売上にどう影響するのか
ケーススタディから学ぶ。

地域創生型新しいビジネスモデル研究会

第2回 大阪 2024年4月18日(木)



和歌山県 商工労働部 企業政策局

成長産業推進課 吉田 圭吾 氏

行政と協働する意味、そして可能性

1. 行政が民間企業と協働するとはどういうことか？
現状の協働／理想的な協働／行政の課題／本当の課題／共通言語
2. 民間企業はどうすれば行政と協働することができるのか？
行政内の力学／行政内のスケジュール／行政内の仲間／まず始める／情報共有
3. 地方でチャレンジする意味はあるのか？可能性はあるのか？
競合の不在／課題しかない／地方の課題は同じ／課題のグローバル化



Ms.Engineer

Ms.Engineer

株式会社

代表取締役 やまざき ひとみ 氏

エンジニア 黒澤 楓 氏

地方創生の新潮流 女性IT人材のリスクと活用

1. 女性ITエンジニア創出事業について
2. リスキリングの現時点
3. 地方女性のITリスキリングの新たな可能性について



“暮らしやすい”をデザインする



Kansai Urban
Living Service
Corporation

株式会社

関西都市居住サービス

SC事業部 e-spots事業推進室 次長 中山 卓也 氏

地域密着型SC（ショッピングセンター）の 新規事業への挑戦

1. 地域コミュニティを活性化する新規事業への取り組み
2. 行政・大学・スタートアップとの共創による推進ステップ
3. 共創による進化と連携の課題



株式会社 COOON

代表取締役 CEO 船橋 諄 氏

社会課題をビジネスに変える事業共創とは

1. 社会課題をビジネスに変える取り組み
2. コミュニティ・ディベロップメントによる地域活性化
3. 社会課題解決に向けた共創の重要性と課題



関西大学
KANSAI UNIVERSITY

関西大学

商学部教授 横山 恵子 氏

イノベーション創生センター 百目木 康平 氏

地域連携・高大連携グループ グループ長 宮辺 葉子 氏

関西大学における産学連携へのチャレンジ ～文系・理系・地域の視点より～

1. 理系の技術シーズをもとに、研究成果の社会実装を推進する
「イノベーション創生センター」の取り組みや施設をご紹介いただく。
2. 地域課題の解決と地域共生を目指して、
産学連携を推進する「地域連携センター」の取り組みをご紹介いただく。
3. 文系ゼミとして、学生の成長意欲を促進させながらパートナー組織との共栄に挑む
「ソーシャルビジネスにおける協働」の取り組みを、教員と学生の視点からご講演いただく。